

8割が「自然景観」で観光振興

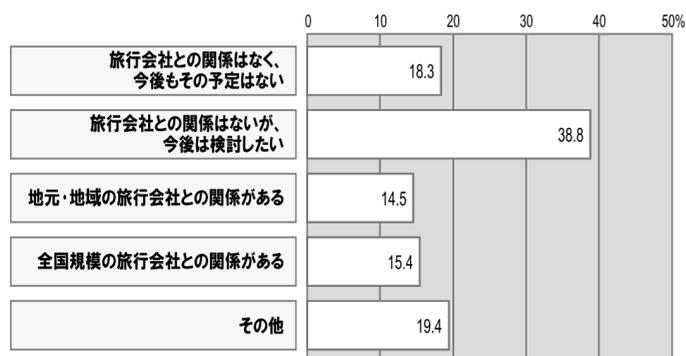
KNT「地域資源、ニューツーリズムに関するWEBアンケート」から(3面参照)

④ 地域資源を活かした旅行商品、ニューツーリズム旅行商品の販売方法(複数回答)



◆地域資源を活かした旅行商品・ニューツーリズム旅行商品の販売方法は、パンフレットを作成して販売が37.2%、ホームページに掲載して販売が32.7%となり、両者で約45%を占め、旅行会社への委託は、地元・全国共に低い数値。

⑤ 地域資源を活かした旅行商品、ニューツーリズム旅行商品の企画・運営・販売における旅行会社との関係



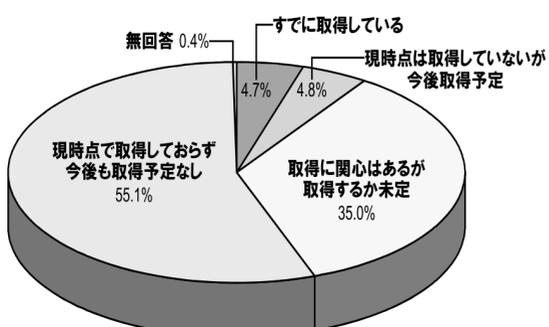
◆地域資源を活かした旅行商品・ニューツーリズム旅行商品における旅行会社との関係は、現状は関係ないが今後は検討したいが38.8%で最も多く、旅行会社との関係は、地元・地域企業が14.6%、全国規模企業が15.4%。

⑥ 地域資源を活かした旅行商品、ニューツーリズム旅行商品の企画・運営・販売における課題(複数回答)



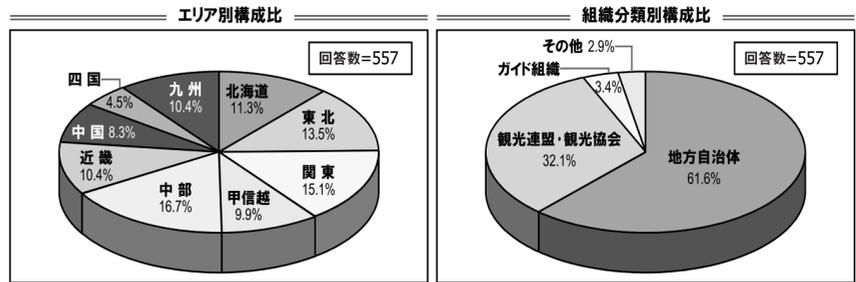
◆地域資源を活かした旅行商品・ニューツーリズム旅行商品における課題では、「観光資源の魅力を活かしきれない」が最も多く58.2%。さらに「ノウハウがない」が40.9%、「人材がない」が35.0%で続き、「企画力・ノウハウ・人材」が3大課題となっている。さらに、市場のニーズ把握ができない、告知・販売の手段がない、旅行商品の窓口が少ないといった、解決に外部からの支援を必要とする課題も、15%以上の比率で存在している。

⑦ 活動地域における「第3種旅行者」資格の所得状況



◆法改正によって、地域密着型の旅行商品の創出にその地域が取り組める「第3種旅行者」資格の取得については、すでに取得しているは全体の4.7%、今後取得予定も4.8%に留まる状況で、取得予定なしは55.1%を占めており、現状よりもさらに主体的に旅行商品を創出する姿勢は、まだ少数派。

■ アンケート回答組織エリア/組織分類

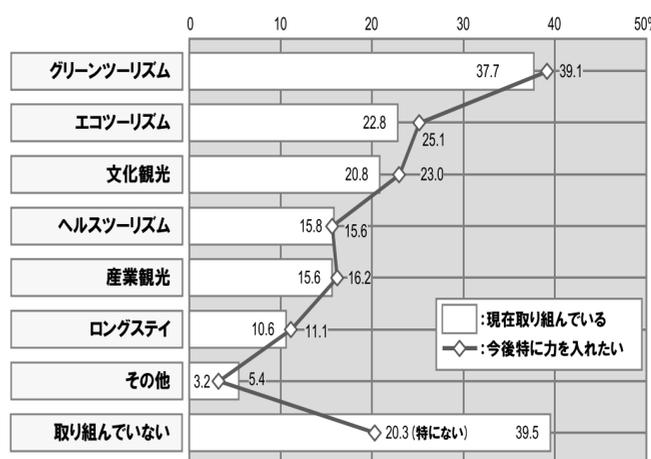


① 観光振興に活かしている地域資源/今後特に観光振興に活かしたい観光資源



◆観光振興に活かしている「地域資源」のトップは自然景観。以下、文化行事・歴史的建造物が続くが、「今後特に活かしたい地域資源」では、歴史的建造物・特産品の順位が上がる。まち並み・農山漁村風景・産業施設も同様。

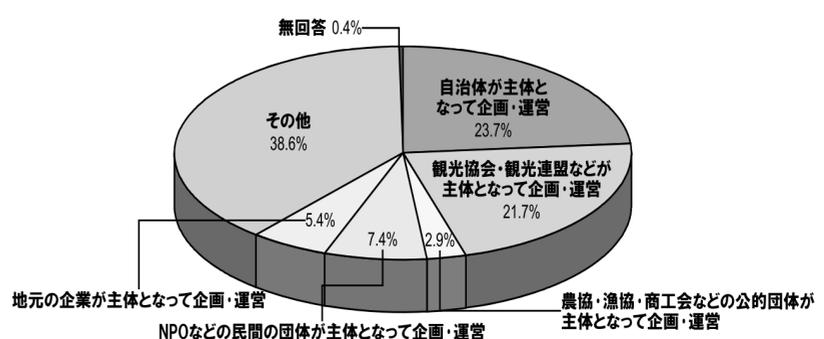
② 現在取り組んでいるニューツーリズム旅行商品/今後特に力を入れたいニューツーリズム旅行商品



【グリーンツーリズム】農山漁村地域での滞在型余暇活動。【エコツーリズム】自然環境・歴史文化を損なうことなく体験し学ぶ観光。【文化観光】歴史・伝統といった文化的要素への知的欲求を満たすことを目的とする観光。【ヘルスツーリズム】自然豊かな地域を訪れることで健康を回復・増進・保持する観光。【産業観光】歴史的・文化的価値のある工場施設や最先端技術を備えた工場等を対象とする観光。【ロングステイ】長期滞在型の観光。

◆現状何らかのニューツーリズム旅行商品に取り組んでいる比率は60.5%。その中で最も多いのはグリーンツーリズムとなり、以下、エコツーリズム・文化観光が続く。「今後特に力を入れたい」は、現状取り組み状況とほぼ同じ傾向。

③ 地域資源を活かした旅行商品、ニューツーリズム旅行商品の企画・運営・販売の主体者



◆地域資源を活かした旅行商品・ニューツーリズム旅行商品での企画・運営・販売の主体者は、自治体が23.7%、観光協会・観光連盟が21.7%となり、両者で約45%を占めている。その他には販売していないも含まれる。